

## Arigato, our friends, for caring and sharing

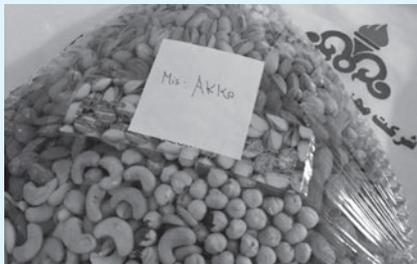
(世界の皆さん、ありがとう)



「...地震があっても、政情が不安定になっても、人は来ません。...我々は常に危険を背中に背負って生きているんです。難しいです。本当に難しい...」(村上春樹『遠い太鼓』p443より)<sup>(※1)</sup>

3.11以降、仕事のキャンセルが相次いだ。訪日絡み、シンポジウム等はほぼ全滅。

途方に暮れる一方、たくさんのメールや贈り物をいただいた。



ドイツからはチョコレートの詰め合わせ、イランからはピスタチオやアーモンドのアソートが。添えられたカードには、「We express our condolences for the catastrophic tsunami in Japan but we also hope you success in Iranian Nowrooz<sup>(※2)</sup>」。(津波の犠牲者にお見舞いの気持ちと、日本の復興をお祈りします。お正月のイランより)とあった。

After shocks (余震)、planned power cuts (計画停電)、radiation (放射性物質)と不安が絶えない中、どれだけ勇気をもたらしたか。

そして、ロスからのサプライズメール。Akko, can you fly to Las Vegas? There's a lot you can do. (ヴェガスに飛べる? NAB show<sup>(※3)</sup>を手伝って)。と。ラスヴェガス、デジタル映画撮影業界... How can I say no?

世界最大のコンベンション都市ラスヴェガスの魅力はなんといってもナイトライフ。光り輝くバーやカジノは大盛況、見たこともないくらいたくさんの人とハイテンション・トークで賑わう。Save power Tokyoから来た私にとっては別世界。ただただ、まばゆかった<sup>(※4)</sup>。



といっても、昼間はおっぱら仕事。会期前のセッティング、展示ブースでの接客から営業フォロー、Tear Down (撤収)と、できることは何でもやった。こぼれたアーモンドをマドラー2本で挟んでケースに戻した時は「I can never do that!」と驚かれ、心の中でVサイン。



仕事仲間のMarianne、Veronicaと一緒に

コンベンションの標準語はもちろん英語。来場者の多くは米国やカナダ。ブラジル人も結構多かった。来場者が下げているIDに名前と国籍、州の名前がプリントされているので、一目瞭然なのだ。そこで、「Buenos dias. How may I help you?」「アンニョンハセヨ。Do you have a special interest here?」と、相手の言葉でご挨拶。すると優しい笑みが返ってくる。

私も聞かれた。「Do you live in LA? (ロスに住んでるの)と。Well, Tokyo is my home, but currently I'm here for the show. 東京から来ているということ、必ずツナミと地震の話題に。「Oh, I'm sorry to hear about the earthquake and tsunami. Are you and your family OK?」「Yes, and we are so grateful for your support.」と、海外の大きな支援に感謝

していることを伝えた。

弟さんが大の日本ファンで日本で留学していた、というアフリカ系のお客様からは、節電や経済のこと、そもそも怖くないの?と尋ねられた。「Of course I'm scared, but no time to be scared.」と言うと、「To my son, Write here, 'Study hard!」と。シングルママで育ち盛りの男の子を抱え、大変なのだそう。「You are young and beautiful, healthy enough to work. So no worry. But when it's really hard, you can always email to me.」と名刺を差し出すと、彼女は泣き出してしまった。そう、働けるって幸せ。



ショップのレジ脇によく見かけた募金箱

帰国して4日後。シカゴからお客様がやってきた。地震前にオファーのあった方で、地震後も、「As long as Tokyo functions, I will not cancel my trip.」東京が動いている限り行くからね、状況はどう?と聞き、私は東京の写真を撮っては送り、そして本当に来て、さも美味しそうにお寿司を頬張り、Japan is OKと太鼓判を押してくださった。

Life is too short to be afraid. だから元気出そう。Thank you, our friends. We'll rise up again.

※1 「遠い太鼓」：村上春樹が『ノルウェイの森』執筆当時、南ヨーロッパを旅していた頃のエッセイ集。地震の2日前にミッドタウンで購入、都心で帰宅難民となった夜も持っていた、お守り代わりの一冊。

※2 Nowrooz：3月中旬にあるイランのお正月休み。

※3 NAB show：毎年ラスヴェガスで行われる世界最大級のFilm&Digital業界イベント。

※4 ヴェガスで撮った写真は、deartravelers.comに掲載♪